

17年前、「寿退社」という形で会社を退社しました。当時、女性は結婚と同時に退社し、専業主婦になることが当たり前でした。

男性と同じように大学に進学し、勉学に費やした20年間でしたが、結婚後は日々家事や育児に追われ、私の名前は「〇〇ちゃん」のママに変わりました。ある日、4歳の息子と2歳の娘の手を引いて公園から帰りな

想



むらしげ 村重 サチコ

家事・育児を楽しく

がら、涙が止まらなくなったことを昨日のことにように思い出します。日本の子育てはなんて孤独なのだろうと痛感し、今までワンオペで育児をしてきたママは大変な苦勞をしていたに違いないと思いました。2018年にこんな社会を変えたいと協会を立ち上げました。

や家事に参加して妻に負担が偏つていない家庭の方が、そうでない家庭に比べて第2子以降が生まれているという傾向が報告されています。これまでにない急激な速度で人口減少が進む令和の現在は、共働きが当たり前になっています。女性は社会に出て自立して働き、もちろん男性も家の中に入って、女性と一緒に家事・子育てをすることで家族の絆を強める必要がありま

す。また、家事の仕方はそれぞれで、親のやり方しか知らない方がほとんどです。今は便利な家電やアイテムがたくさんありますが、それを知らないために、家事に追われてしまっている場合が少なくありません。

そこで協会では家事を効率的に行う方法を教える時短家事コンディネーター®という資格を伝えるトモダテトレーナー®という資格を創設しました。現在全国に1100人を超える資格者が誕生し、自分の生活に役立てると同時に、周囲にも伝えていきます。

これからのパパやママが、楽しく家事や育児をし、自分らしく暮らせる世の中を目指していきます。(一般社団法人ワーク・ライフ・インテグレーション協会代表理事)

人口減少、出生率低下が日本の大きな問題ですが、21年の厚生労働省の調査では、夫が育児

と、夫婦で子育てをする大切さ